

「あまみエフエム ディ！ウェイヴ」放送原稿〈1月3日（金）放送分〉

テーマ：「奄美図書館行事等の御案内」

あまみエフエム ディ！ウェイヴをお聞きの皆様、明けましておめでとうございます。
鹿児島県立奄美図書館です。

旧年中は、県立奄美図書館の業務や事業に対しまして、格別のご理解とご協力を賜り、
心よりお礼申し上げます。先月の「クリスマスおはなし会」や「奄美群島日本復帰記念
シンポジウム」にもたくさんのご参加をいただき、誠にありがとうございました。

本年も、よりたくさんの皆様にご利用いただけるよう、質の高い図書館サービスを目
指して、職員一同頑張っていきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

なお、本日1月3日から5日までは、午後5時までの開館となっております。

新しい一年が始まりました。今年の干支は「午（馬）」ですね。日本でも馬と人間との
関わりは古く、古墳などからも馬具を身につけた馬の埴輪が出土しています。馬は古く
から、交通や運搬手段、または農耕用として人間の生活に密着していた動物です。そし
て、「神様の乗り物」としての信仰もあり、生きた馬が神様へ奉納されていました。今で
も、神社で見かける「絵馬」は、その名残の一つのようです。

さて、飛躍・躍進の象徴であるウマは、十二支の中で七番目に数えられていますが、
もともと漢字で書く「子・丑・寅・卯・……」と、それを表す動物の鼠・牛・虎・兎
・……との関連性はなく、当時の中国の人々に馴染みの深い動物を漢字に当てはめて覚
えやすいようにしたのだそうです。

十二支の順番は、一月一日に神様のところに出向いた順で、早くに出発したウシの背
中に乗っていたネズミが一番乗りに、ネズミにだまされて次の日に出向いたネコは神様
に「顔を洗って出直して来い。」と怒られた。以来、ネコは前足で顔を洗うようなしぐさ
をするようになり、だましたネズミを恨んで、今でも追い回すという物語は皆さんよく
ご存知でしょう。

奄美図書館蔵書の絵本『十二支のはじまり』（岩崎京子/文、二俣英五郎/画）には、サ
ルとイヌの間にニワトリが入ったいきさつや、イノシシが最後になってしまったわけな
ど、なるほどと納得してしまう話が描かれています。是非、年賀状を目にするこの時期
に、お子さんと一緒に読んでみてはいかがでしょうか。

また、これからの時期、受験生の皆様にとっては、センター試験や高校受験などに向け、ラストスパートといったところでしょうか。寝る間も惜しんで勉学に^{はげ}励んでいらっしゃることでしょう。体調管理をしっかりと、万全の体制で試験を迎え、悔いのないように頑張ってください。奄美図書館の4階学習室も是非ご利用ください。

それでは、奄美図書館1月の^{もよおしもの}催し物についてお知らせします。

はじめに、生涯学習講座「あまみならでは学舎」の7時間目です。今回の講座の科目は「観光」です。^{さけこうぼう}SAKE工房 ^{こころ}心の ^{にいもと}新元 ^{じゅんぺい}淳平さんを講師に、「黒糖焼酎と料理のマリアージュ（食べ合わせ）」と題して、プロの目線による様々な料理や「おもてなし」についてお話しいたします。

期日は1月18日、土曜日、午後2時から午後3時30分まで、場所は奄美図書館4階研修室です。当日の参加申し込みも受け付けておりますので、是非ご参加ください。

また、3階閲覧室の壁面ギャラリーでは、「第14回未来に残そう青い海・海上保安庁 図画コンクール展示会」を開催中です。海上保安庁長官賞などを受賞された小・中学生の作品を、1月9日、木曜日まで展示いたします。子どもたちのメッセージが込められた、躍動感あふれる作品を是非ご覧ください。

さらに、1月7日、火曜日からは、「奄美高校県民大学 作品展」を開催します。県民大学受講生による「奄美のPRポスター」などの力作を展示いたします。展示期間は、1月18日、土曜日までです。

なお、昨年から2階の郷土コーナーで開催しております「民俗学者・^{えばら よしもり}恵原義盛 スケッチ画展」は、1月30日、木曜日までです。戦前・戦後の奄美、沖縄の懐かしい風景が色鉛筆で描かれています。こちらへも是非おいでください。

お知らせしました全てのお申込み、お問い合わせは、奄美図書館までお願いします。

電話番号は、52-0244（繰り返して言う）、FAX番号は52-9634（繰り返して言う）です。

皆様、今年もよろしくお願ひいたします。来週もまたこの時間にお会いしましょう。県立奄美図書館でした。